

11  
17  
聖徒伝 232

# 根拠ある 希望をもつて 忍耐しよう

エレミヤ書 11章

主の契約の恵みと裁き

## アウトライン

### 0. イントロダクション

I. 民を導く主の律法 11:1~8

II. 破られた契約 罪と裁き  
11:9~23

### III. まとめと適用

根拠ある希望をもって

忍耐しよう





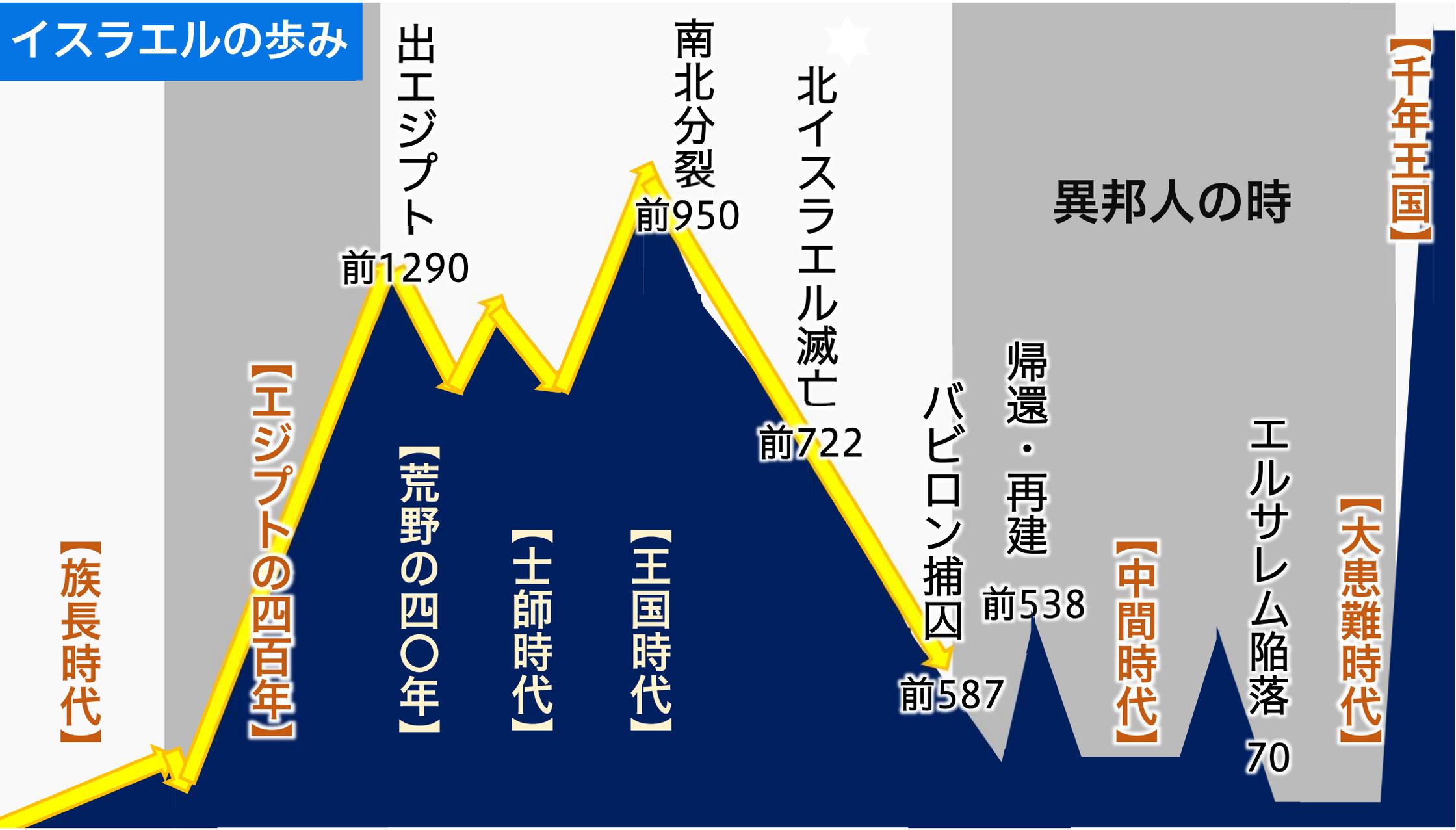
# 0. イントロダクション

## なぜ預言を学ぶ必要があるのか？

- ① 預言は、神が預言者に託された、**神の言葉**
- ② **聖書の1/3**以上は、預言または預言的内容
- ③ 預言の多くの内容は**将来のこと** = 私たちにも深く関係

「わたしが律法や預言者を廃棄するために来た、と思っ  
てはなりません。廃棄するためではなく成就するために来た  
のです。マタイ5:17」

# イスラエルの歩み



【族長時代】

【エジプトの四百年】

【荒野の四〇年】

【士師時代】

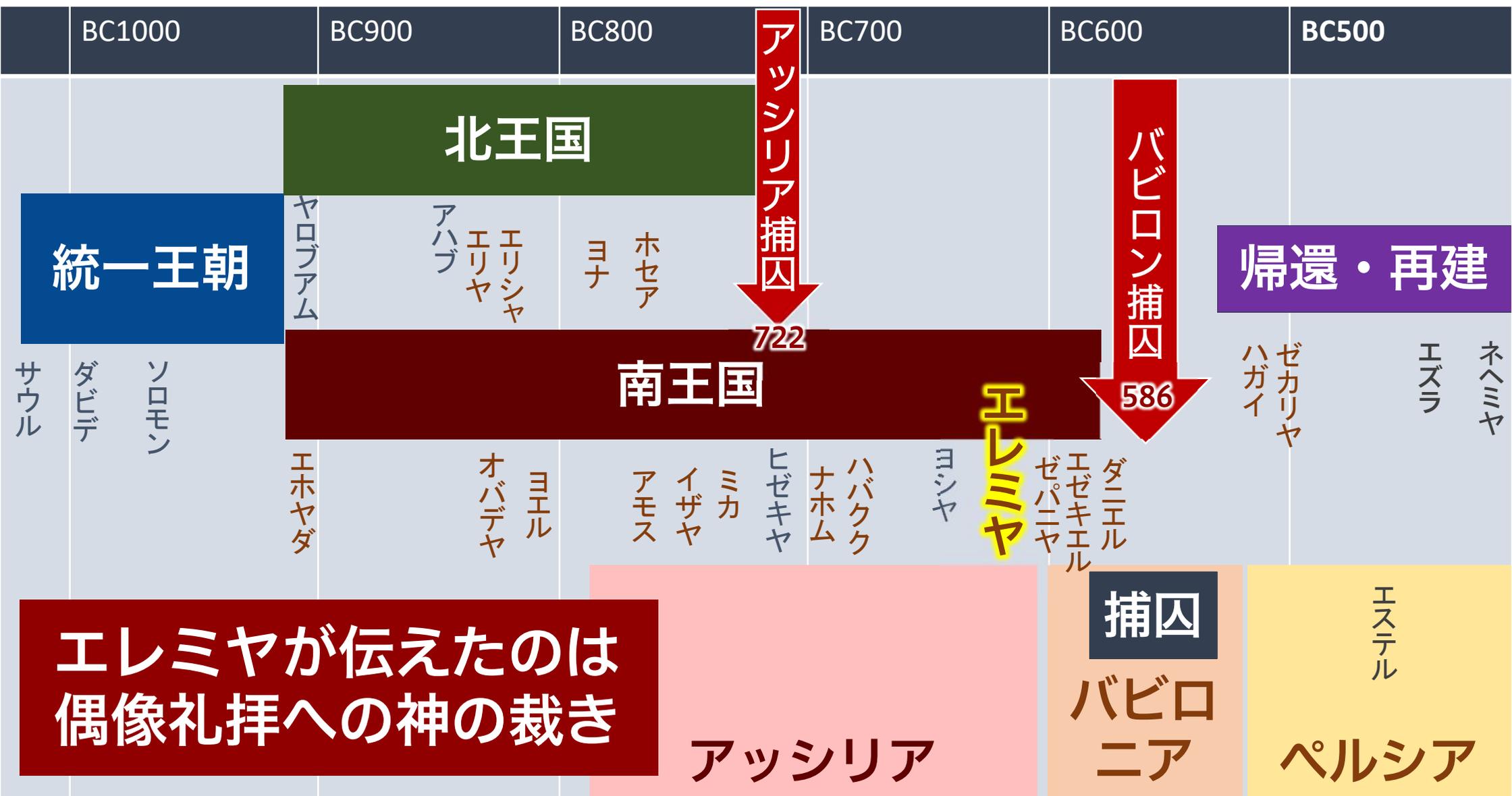
【王国時代】

【中間時代】

【大患難時代】

【千年王国】

# イスラエル王国史



## 罪の本質 と 偶像礼拝

■ 墮天使サタンの誘惑・蛇が言ったこと

「それを食べるそのとき、目が開かれて、あなたがたが**神のよう**  
**になって**善悪を知る者となる 創世記3:5」

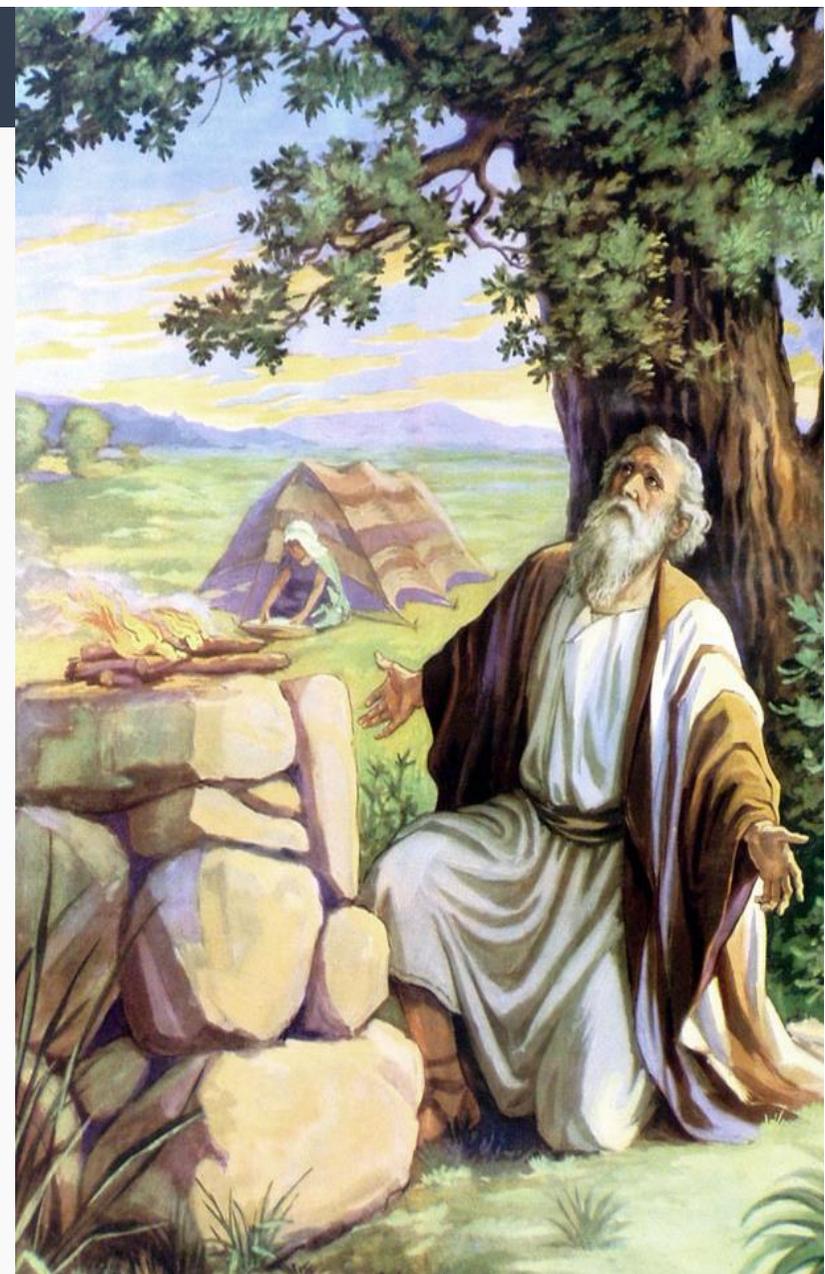
■ 神になろうとして地に落とされたのが、サタン

「おまえは心の中で言った。『私は天に上ろう。神の星々のはるか上に私の王座を上げ、北の果てにある会合の山で座に着こう。密雲の頂に上り、**いと高き方のように**なろう。イザ14:13~14』

**罪の本質は、「神のようになりたい」 →自分が偶像!!**

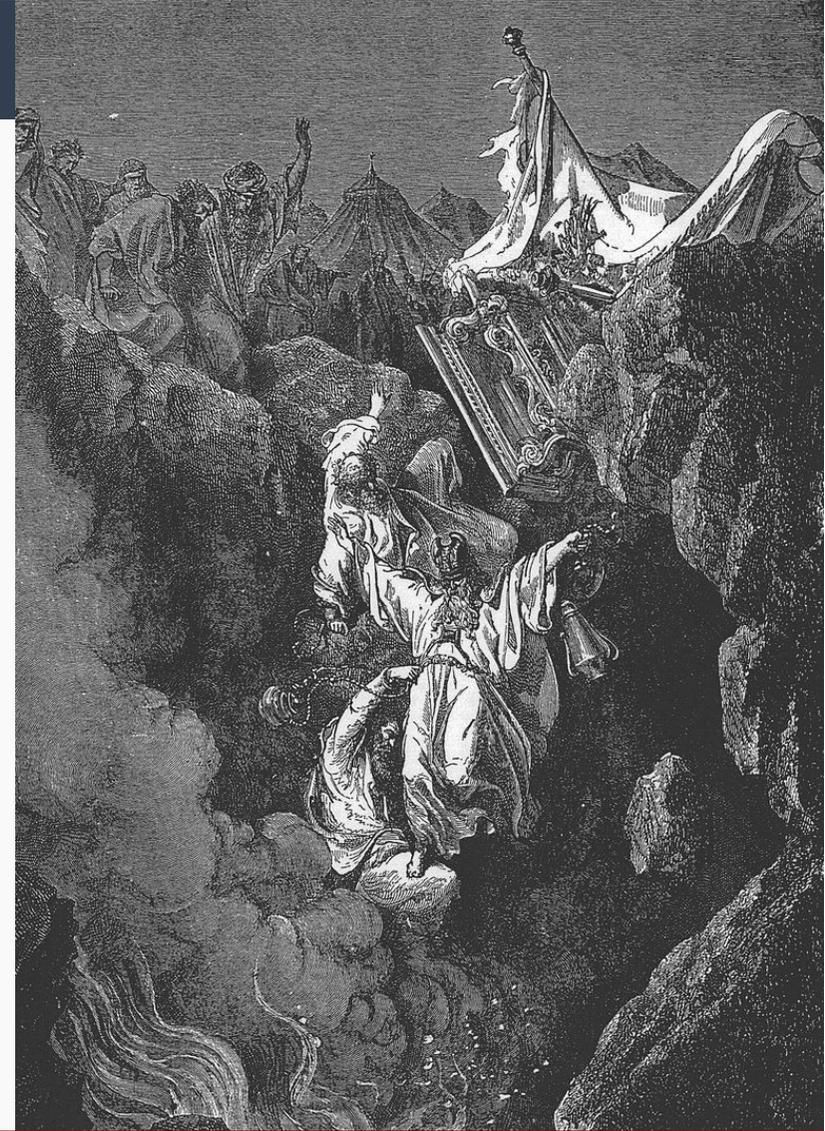
## 偶像にまみれた 約束の土地

- アブラハムは、カナンの偶像礼拝のただ中で、唯一の主を礼拝した
- 帰還するイスラエルを待ち構えるのは、カナンの偶像礼拝による誘惑・試練。
- 律法は、**偶像礼拝**の危険性を再三指摘。  
従えば祝福 → 罪からきよめられる。  
背けば呪い → 神の祝福が去る。



# イスラエルの偶像礼拝・背教の歴史

- 出エジプト直後からのつぶやき。  
シナイ山麓での金の子牛事件。  
カデシュ・バルネア事件→荒野の40年
- 混沌の士師時代。ベニヤミン族の聖絶。  
最初の王サウルの背教。  
ソロモンの失態 → 王国の南北分裂  
北王国の滅亡 → アッシリア捕囚



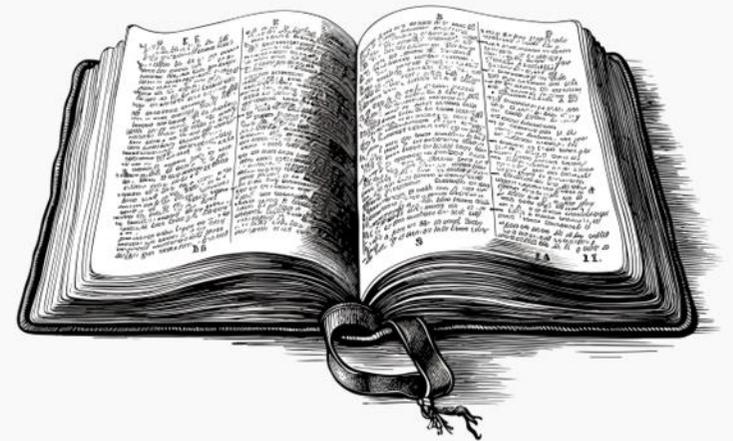
ついに、南王国への裁き・バビロン捕囚が近づく!!

# 聖書解釈にも適用すべき原則

■「福音は、まずユダヤ人、それから異邦人に(ロマ1:16)」

■聖書解釈も同様

- ①まず、ユダヤ人へのメッセージとして読む
- ②異邦人の私たちに適用させる





# Ⅰ. 民を導く主の律法

エレミヤ書11:1～8

シナイ山

## 宣告① 契約のことば エレミヤ11:1~3

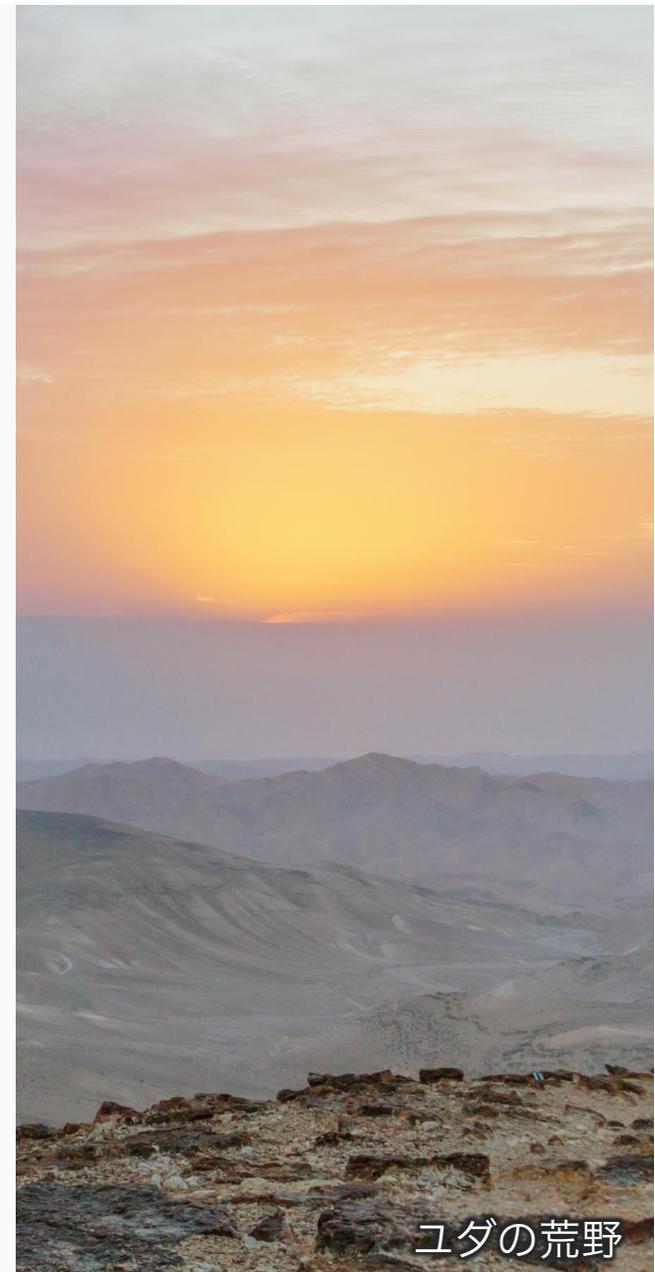
【主】からエレミヤにあったことばは、次のとおりである。

「この契約のことば\*を聞け。これをユダの人とエルサレムの住民に語れ。

『イスラエルの神、【主】はこう言われる。  
この契約のことばを聞かない者は、のろわれる。

\*律法 …従う者には祝福。背く者には呪い。

■最初に確認される、祝福と呪いの律法の原則



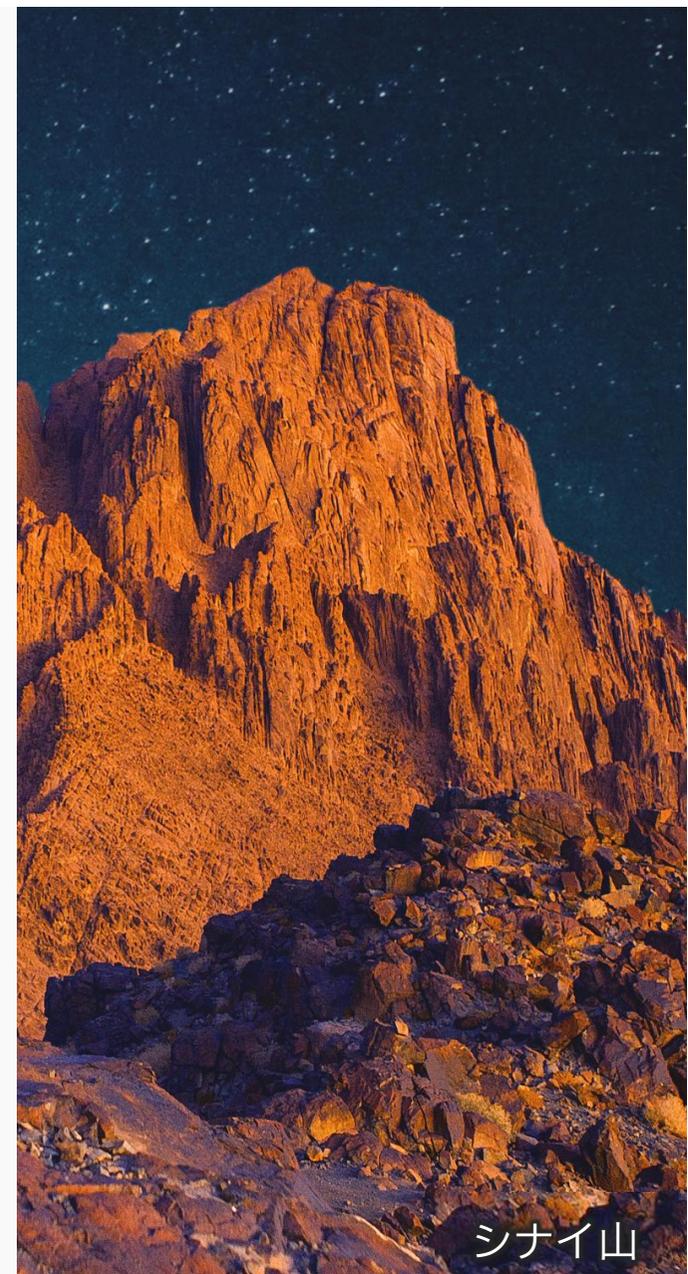
ユダの荒野

## 宣告① 主の律法 エレミヤ11:4

これ\*は、わたしがあなたがたの先祖をエジプトの地、鉄の炉から導き出したとき、「わたしの声に聞き従い、すべてわたしがあなたがたに命じるように、それ\*を行え。そうすれば、あなたがたはわたしの民となり、わたしはあなたがたの神となる」と言って、彼らに命じたものだ。

### \*律法

■ イスラエルは、神に律法を与えられることで、王なる神に仕える「神の民」とされた。



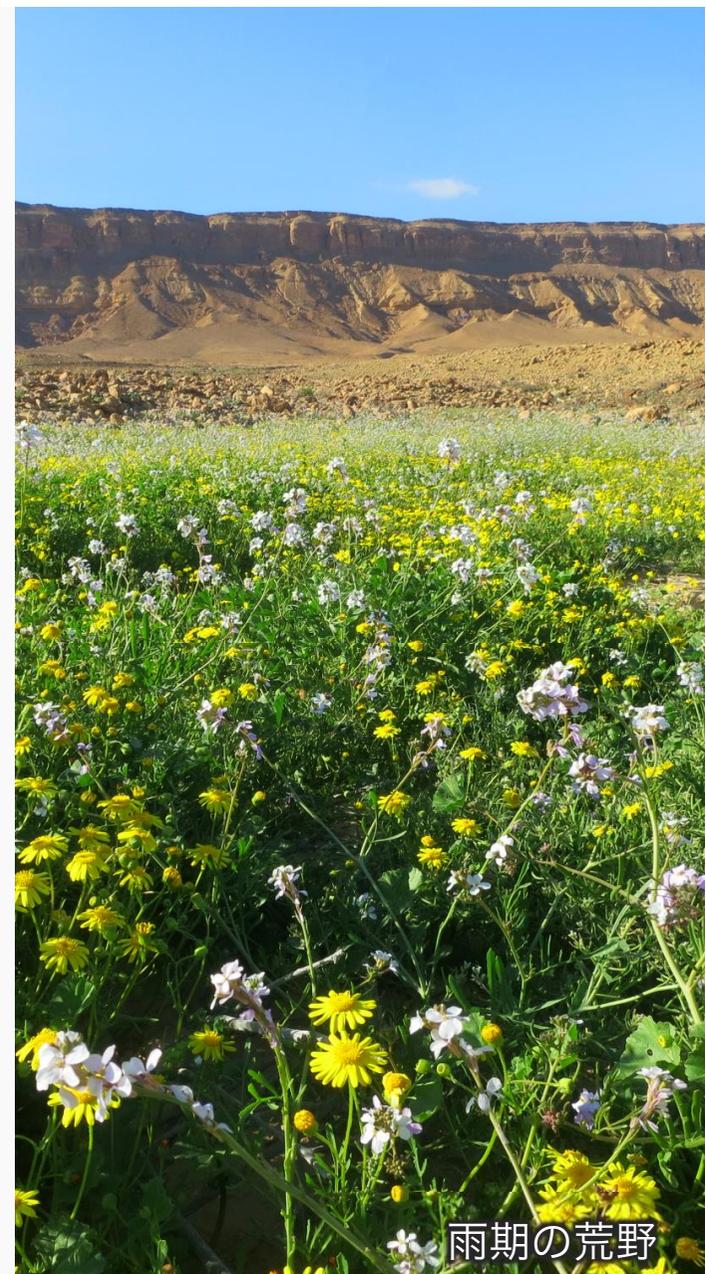
シナイ山

## 宣告① 乳と蜜の流れる地 エレミヤ11:5

それは、わたしがあなたがたの父祖たちに対して、乳と蜜の流れる地を与えると誓ったこと\*を、今日のとおり成就するためであった。』」私は答えた。「アーメン。【主】よ。」

\*アブラハム契約…土地、繁栄、メシアの約束

■主の律法が、イスラエルを守り導き、  
アブラハム契約の土地の約束を成就させた。



雨期の荒野

## 宣告② 契約のことは エレミヤ11:6

すると、【主】は私に言われた。

「これらのことは\*のすべてを、ユダの町々と、エルサレムの通りで叫べ。『この契約のことは\*を聞いて、これを行え。』

\*南王国で告げ知らせられるべきは、主の律法

■ エレミヤはまず、エルサレムで律法の遵守を民に呼びかけた。

預言の中心は、律法遵守の呼びかけ



## 宣告② 主の戒め エレミヤ11:7

わたしは、あなたがたの先祖をエジプトの地から導き出したとき、厳しく彼らを戒め、また今日まで、「わたしの声を聞け\*」と言って、しばしば戒めてきた。

\*主の戒めの中心

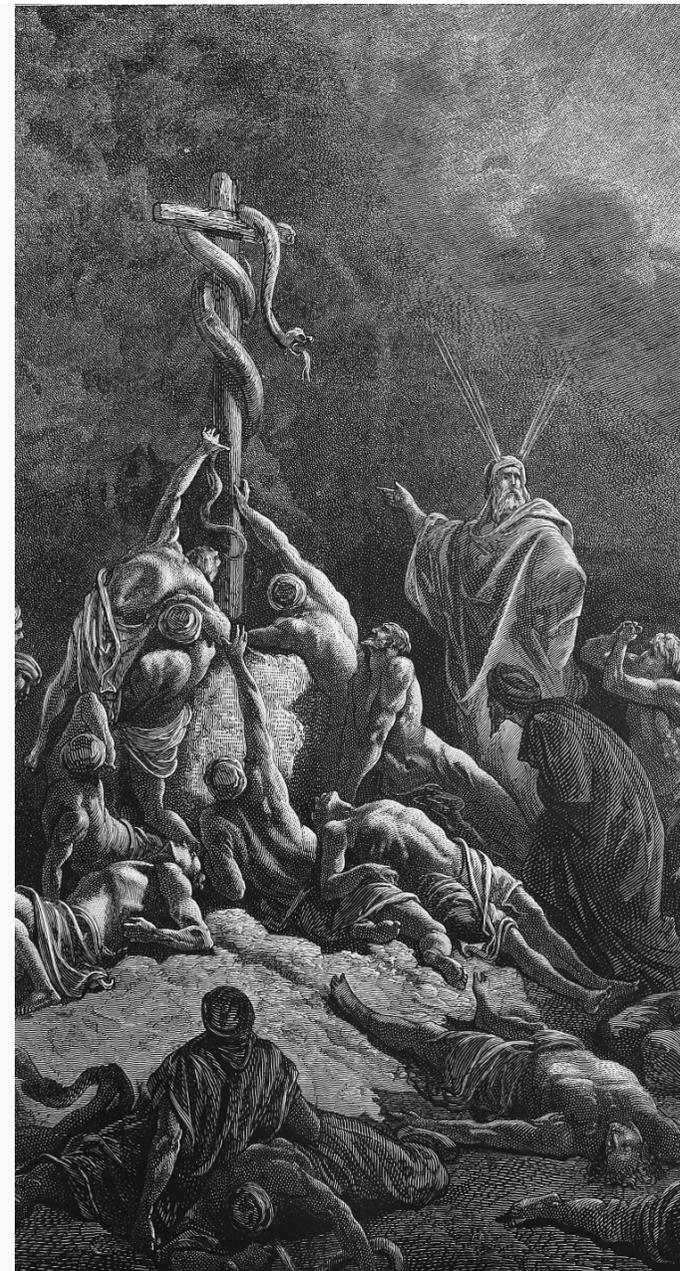
➡律法に耳を傾け、従うこと



## 宣告② 契約のことばの裁き エレミヤ11:8

しかし彼らは聞かず、耳を傾けず、それぞれ頑なで悪い心のままに歩んだ。そのため、わたしはこの契約のことばをことごとく彼らの上に臨ませた\*。わたしが行うように命じたのに、彼らが行わなかったからである。』』

\*背教のイスラエルに臨ませられたのは、律法の定める、「のろい」





## II. 破られた契約 罪と裁き

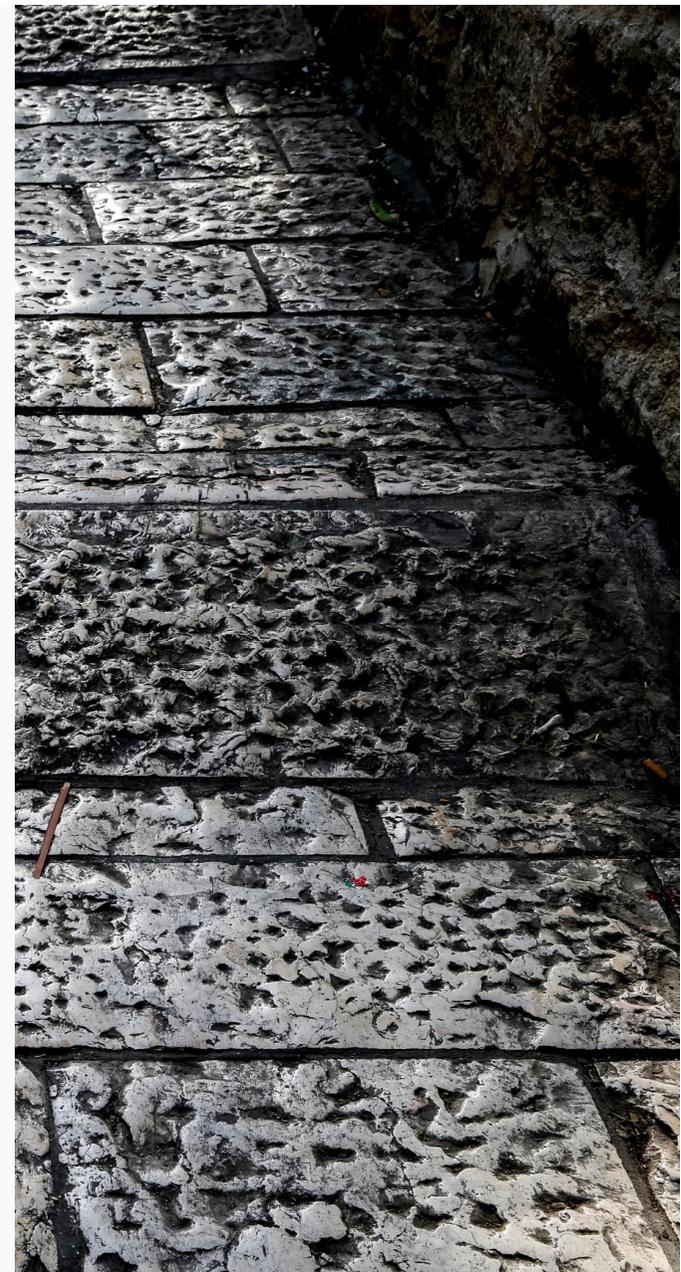
エレミヤ書11:9～23

## 宣告③ 偶像礼拝の咎 エレミヤ11:9~10

【主】は私に言われた。「ユダの人、エルサレムの住民の間に、謀反がある。

彼らはわたしのことばを聞くことを拒んだ自分たちのかつての先祖の咎に戻り、彼ら自身もほかの神々に従って、これに仕えた\*。イスラエルの家とユダの家\*は、わたしが彼らの父祖たちと結んだわたしの契約を破った。

■ 偶像礼拝\*によって、北王国も南王国も、全イスラエル\*がモーセの律法を破った。



## 宣告③ わざわい エレミヤ11:11~12

それゆえ——【主】はこう言われる——見よ、わたしは彼らに**わざわい\***を下す。彼らはそれから逃れることができない。彼らがわたしに叫んでも、わたしは聞かない。

ユダの町々とエルサレムの住民は、自分たちが犠牲を供えている神々のもとに行って叫ぶだろうが、これらは、彼らの**わざわい\***の時に、決して彼らを救わない。

■ 主の契約に基づく裁き (**わざわい\***) の厳格さ。

➔ 偶像の無力さを思い知らせるために



ユダの荒野

## 宣告④ 偶像の祭壇 エレミヤ11:13

『まことに、ユダよ、あなたの神々は、あなたの町の数ほどもある\*。あなたがたは、恥ずべきもののための祭壇、バアルのために犠牲を供える祭壇を、エルサレムの通りの数ほども設けた\*。』

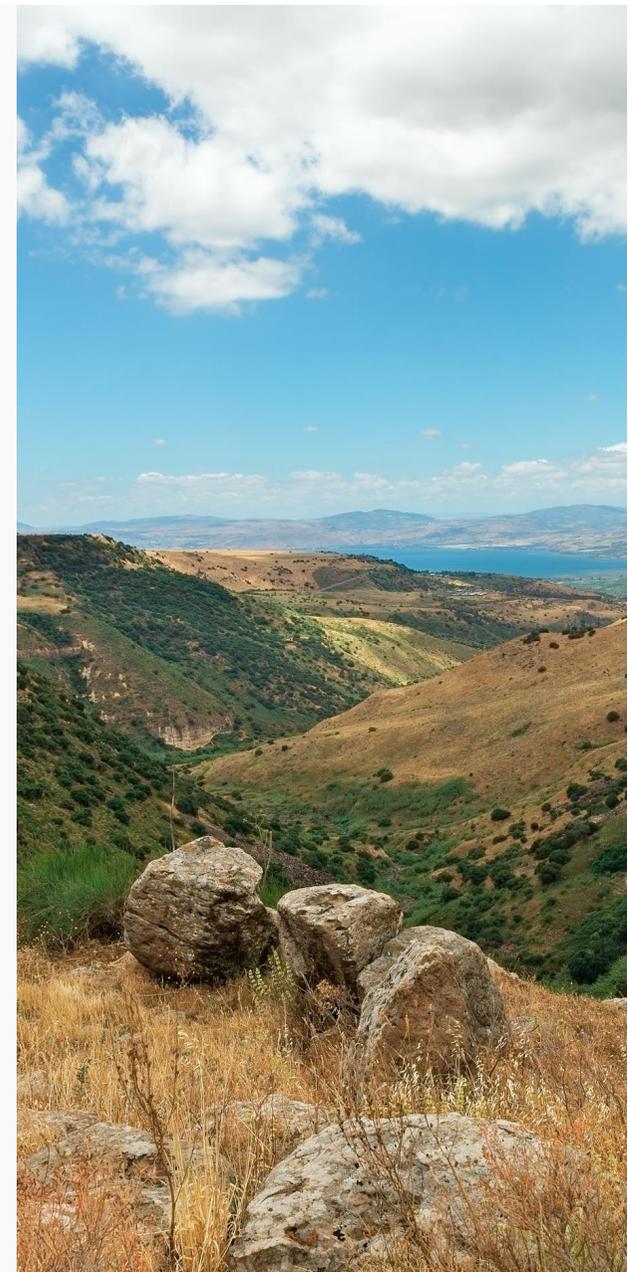
\*町ごとに偶像の祭壇が築かれるほどに!!

\*エルサレムの都の最も高いところに神殿が。

➡本来、都の通りは、神殿に上るもの

■都のあちこちに偶像の祭壇が据えられ、

人々の心は、主の神殿から離れてしまった。



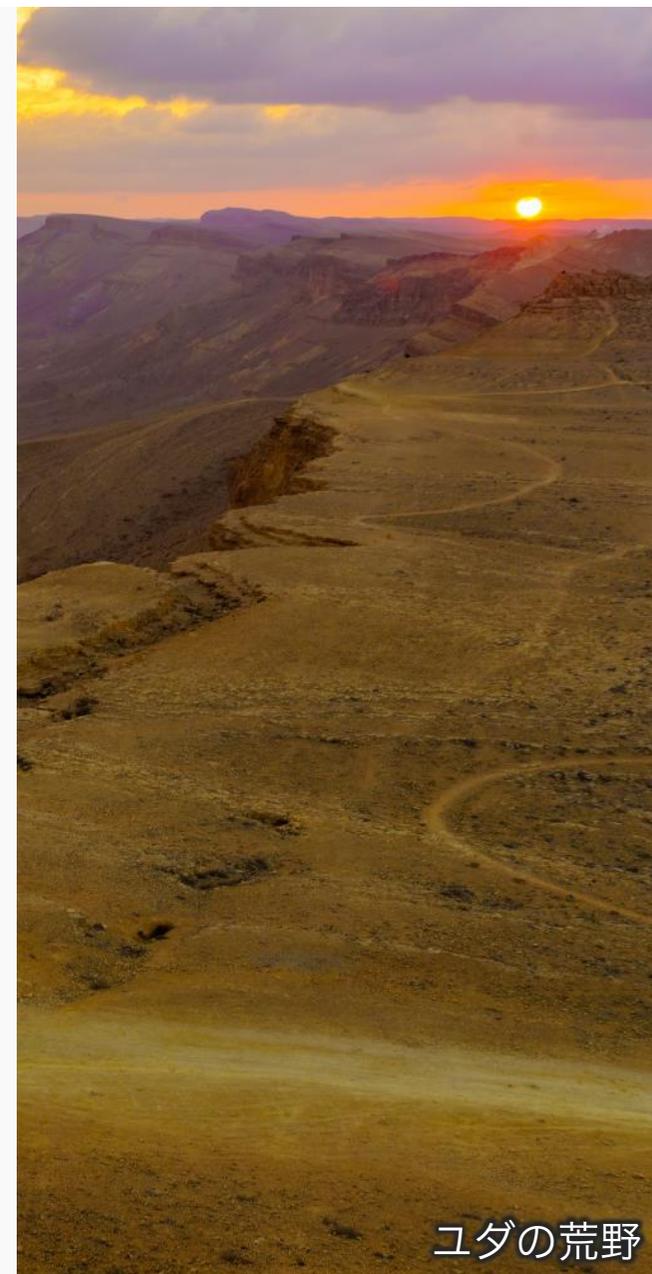
## 宣告④ 逃れ得ない裁き エレミヤ11:~15

あなたは、この民のために祈ってはならない。彼らのために叫んだり、祈りをささげたりしてはならない。彼らがわざわざいであって、わたしを呼び求めても、わたしは聞かないからだ。

『わたしの愛する者は、わたしの家で何をしているのか。いろいろと何を企んでいるのか。聖なるいけにえの肉\*が、わざわざをあなたから過ぎ去らせるのか。そのときには喜び躍るがよい。』

\*律法の規定通りに主にささげられたいけにえ。

■ 主の裁きが下る時、もはや避ける手段は皆無。



ユダの荒野

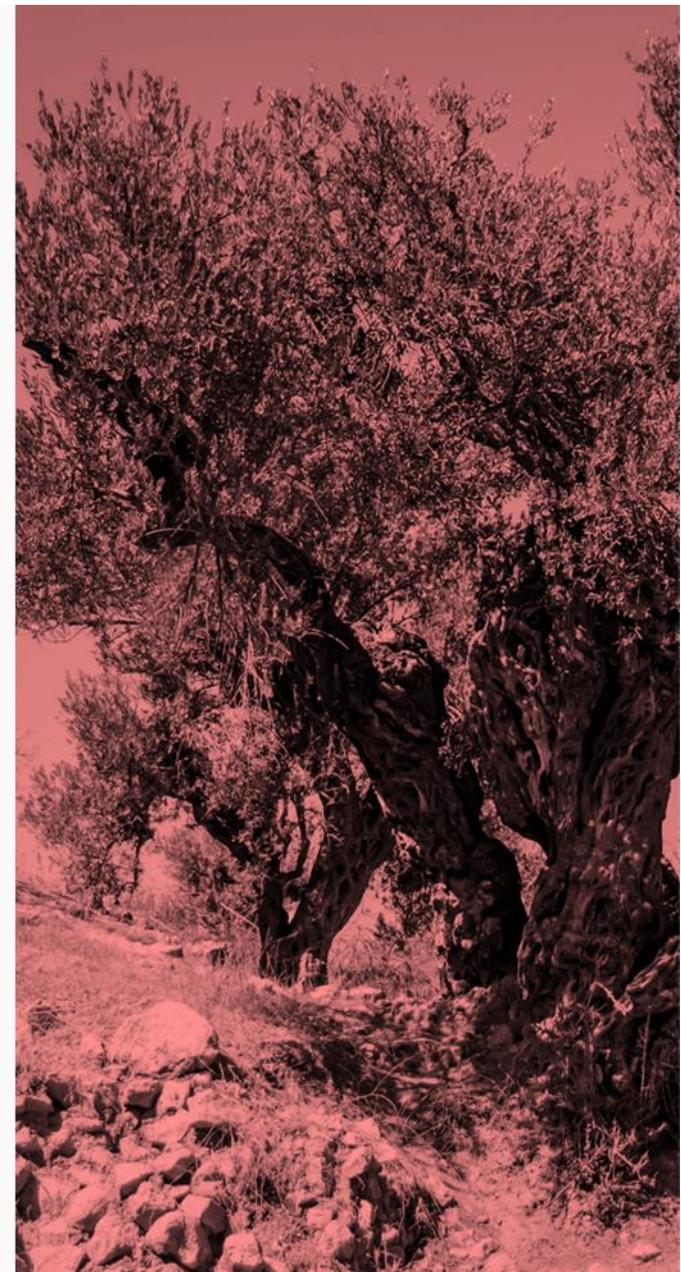
## 宣告④ 植えられた神 エレミヤ11:16~17

【主】はかつてあなたの名を、「実りの良い、緑のオリーブの木」と呼ばれた。だが、大きな騒ぎの聲が起こると、主がこれに火をつけ、その枝は台無しになる。

あなたを植えた万軍の【主】が、あなたにわざわいを告げる。イスラエルの家とユダの家が悪を行い、**バアル\***に犠牲を供え、わたしの怒りを引き起こしたからである。』」

\*カナンの代表的偶像、天候を司る雷神

■イスラエルを植えられた神に、裁きの権限が。

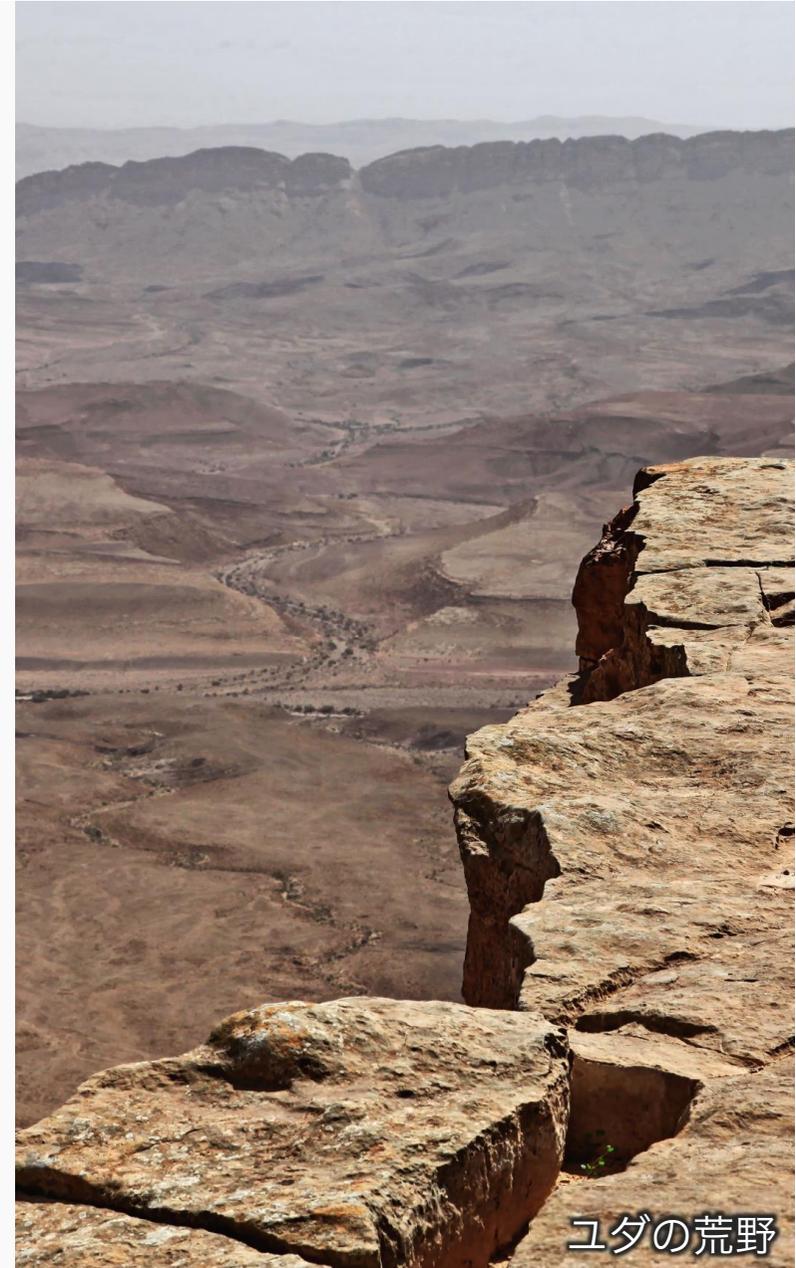


## 応答 イスラエルの罪 エレミヤ11:18

「【主】が私に知らせてくださったので、私はそれ\*を知りました。それからあなたは、彼らのわざ\*を私に見せてくださいました。

\*イスラエルの罪の実態

➡エレミヤの想像を絶するものだった



ユダの荒野

## 応答 屠り場に行く子羊 エレミヤ11:19

私は、屠り場に引かれて行く、おとなしい子羊のよう\*でした。彼らが私に敵対して計略をめぐらしていた\*ことを、私は知りませんでした。『木を実とともに滅ぼそう。彼を生ける者の地から断って、その名が二度と思い出されないようにしよう』と。

\*殺される寸前のエレミヤに、メシアの影が!!

\*裏切りの謀略の犠牲となったエレミヤ

■ 都の偽善者たちは、エレミヤを殺して、神の警告もなかったことにしようと!!



## 応答 主が復讐される エレミヤ11:20

しかし、正しいさばきをし、心とその奥にあるものを試す万軍の【主】よ。あなたが彼らに復讐するのを私は見るでしょう。私があなたに、私の訴えを打ち明けた\*からです。」

\*裁きは覆せなくても、残れる信仰者の祈りを主は聞いてくださる。

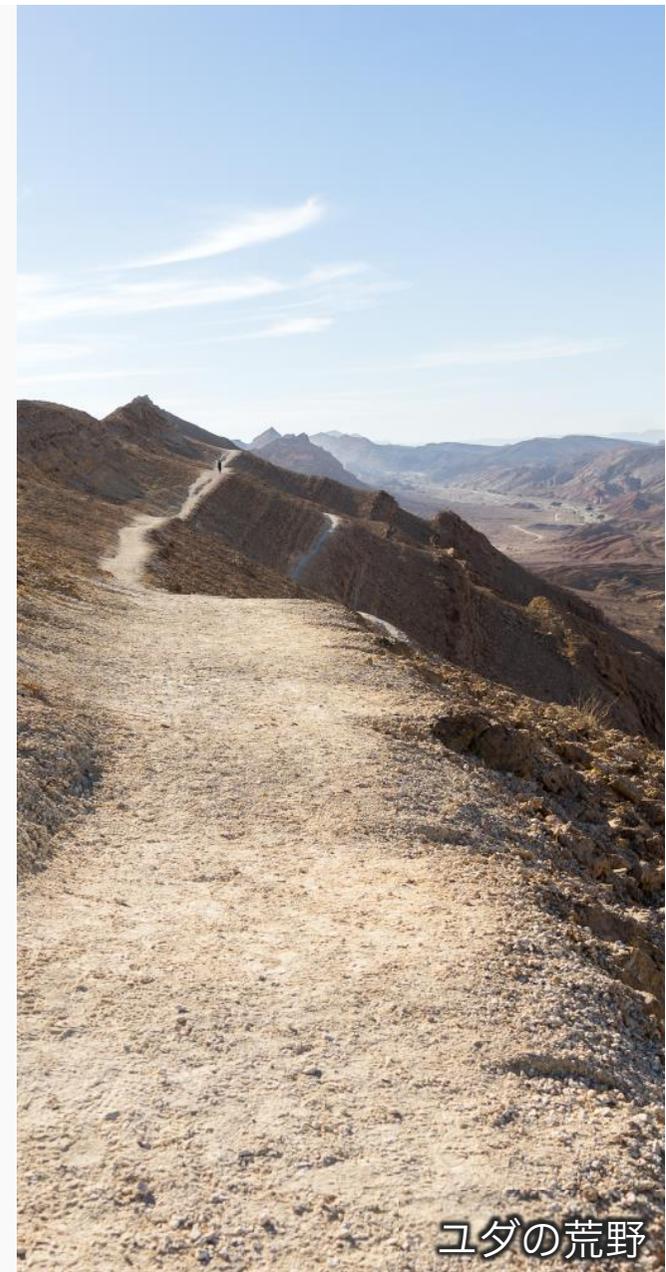
■主に訴え、復讐を委ねたエレミヤの信仰。



## 宣告⑤ 背教者の町 エレミヤ11:21

それゆえ、【主】はアナトテ\*の人々について、こう言われる。「彼らはあなたのいのちを狙い、『【主】の名によって預言するな。われわれの手にかかって、あなたが死なないように』と

\*エルサレム北部。ベニヤミン族領内の町。  
ここでは、背教者を象徴する町として言及



ユダの荒野

## アナトテとは？

- 息子の暴虐を見過ごした祭司エリの罪。  
→ エリの家系は祭司から断絶と預言
- 祭司エブヤタルが、ソロモンに造反  
→ 祭司職の剥奪、アナトテに追放
- アナトテ出身のエレミヤは、  
追放された祭司エリの子孫？！

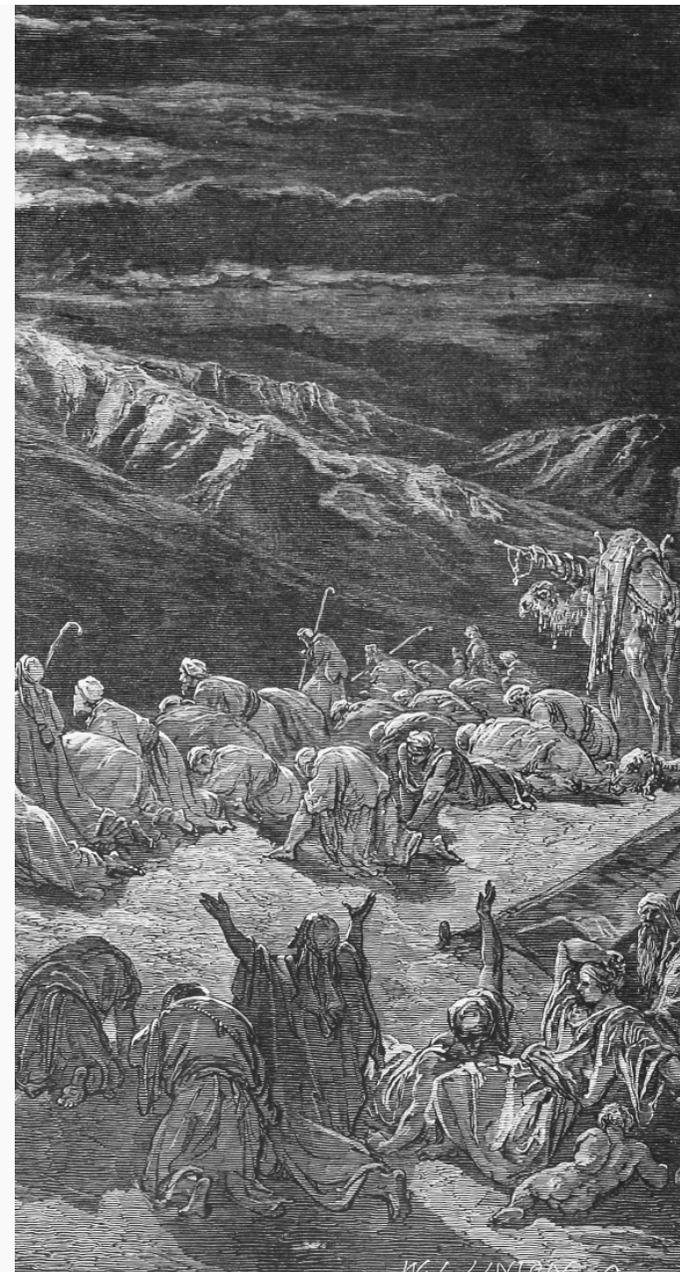
**追放された祭司一族の地 = 背教者の象徴**



## 宣告⑤ 刑罰の年 エレミヤ11:22～23

それゆえ——万軍の【主】はこう言われる——  
見よ、わたしは彼らを罰する。若い男は剣で死に、  
彼らの息子、娘は飢えで死に、彼らには残る者がいなくなる。  
わたしがアナトテの人々\*にわざわいを下し、刑罰の年をもたらすからだ」

\*今や、イスラエル全体が背教のアナトテに!!





### Ⅲ. まとめと適用

根拠ある希望をもって忍耐しよう

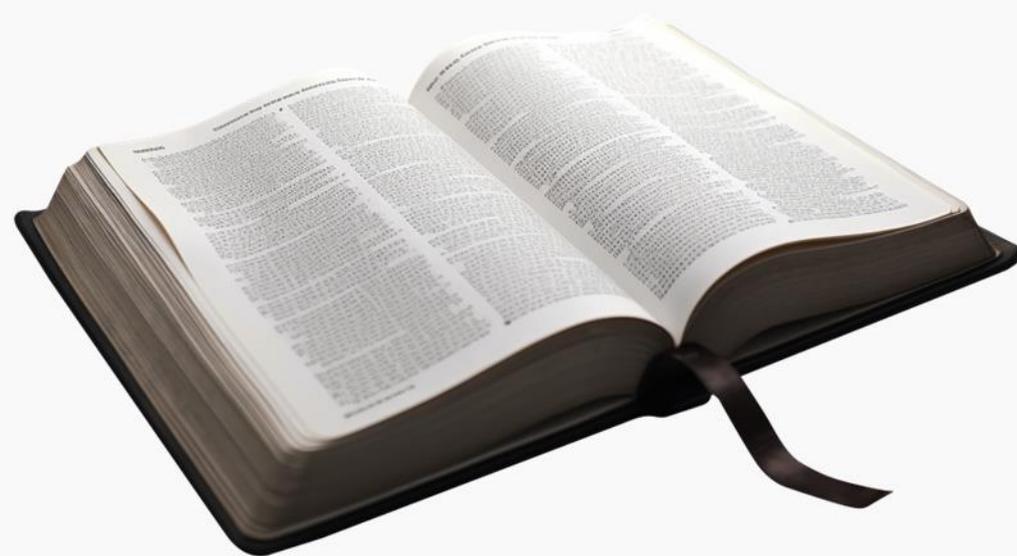
## 原則に従って適用しよう

■「福音は、まずユダヤ人、それから異邦人に(ロマ1:16)」

■聖書解釈と適用も、同様の課程が求められる

- ① 当時のイスラエルへ
- ② 現在のイスラエルへ
- ③ 現在の地域教会へ

本質的に共同体への警告



## エレミヤの預言 ①当時のイスラエルへ

- **警告** : 「わたしの声を聞け」 → モーセの**律法**に立ち返る
- **裁き** : 数々の懲らしめにも関わらず続けられた**偶像礼拝**。  
エルサレムの崩壊、**バビロン捕囚**は確定。
- **救い** : 偶像礼拝を捨て、唯一の主に立ち返るなら、  
**イスラエルの個々人**には救いの道が残されている。

## エレミヤの預言 ②現在のイスラエルへ

- **警告** : 律法が指し示す、真の**メシア**、**イエス**に立ち返る
- **裁き** : 初臨のメシア拒絶 → 都の崩壊、離散  
不信仰のままの国の再建、苦難 → **大艱難時代**へ
- **救い** : イエスをメシアと信じるなら、  
**イスラエルの個々人**には救いの道が残されている。  
→ **大艱難時代**の最後には、民族的回心へ

## エレミヤの預言 ③現在の地域教会へ

- **警告** : キリストの愛の律法に堅く立ち続ける
- **裁き** : 教会が偽りの教えで膨らむ。悪が棲み着く。  
偽りの教会は、吐き出される → **大艱難時代**へ
- **救い** : 真実に福音を信じた者は、携拳される。  
→ **大艱難時代**には、反キリストの大迫害下で、  
世界的リバイバルの一方、おびただしい殉教も。

## 聖書の基本は、信仰共同体への呼びかけ

- アブラハムへの主の呼びかけは、子孫のイスラエルを前提。
- 聖書預言の対象は常に、神の民・イスラエル。
- 主イエスと使徒の教えは、ユダヤ人信者と異邦人信者による教会に向けられたもの。
  - ➔ 信仰共同体という基盤のない信者は、根無し草に!!

まず、共同体として受け取り 次に、個々人に適用する

## 常に、個々人に残されている選択の余地

- 主が決められた、**イスラエルと教会**の行く末は動かさない。
  - ➔ 大艱難時代の最後まで続く、イスラエルの頑なさ
  - ➔ 偽りの教えが膨らみ、偽教師がはびこる、地上の教会
- ユダヤ人と異邦人の**個々人**には、大きな選択の余地が!!
  - ➔ 主イエスの福音を信じ、信じ続けること
  - ➔ 主イエスの愛の律法に、堅く立ち続けて行くこと
- どの時代も、イスラエルには**残れる者・レムナント**がいた。  
終末時代にも、**残れる信仰者**であることが求められている。

## エレミヤの預言 信仰者個々人への適用

■ **警告** : 偽りの教えが広がる中、**キリスト**の福音を信じ、**キリスト**の愛の律法に堅く立ち続ける

■ **裁き** : 偽りの信仰のまま死去 → 永遠の滅び  
携拳から取り残される → 大艱難時代へ

■ **救い** : パラダイスカ。携拳されるか。  
大艱難時代に悔い改めて救われるか。

## 信仰共同体こそ、靈的戦いの最前線

■ 預言は、第一に**イスラエル**に向けて告げられた。

イエスと使徒の教えは、**教会**に向けて告げられた。

→ 靈的戦いの最前線は、常に**イスラエル**と**教会**にある。

■ 終末が近づくほど、教会内の戦いは激化する。

→ 求められるのは、靈的戦いのただ中に身を置きつつ、

**キリストの愛の律法**に堅く立ち続けること。

→ エレミヤが、エルサレムで神の声を伝え続けたように。

## 終末時代の信仰者として

■身を置いている地域教会が、教理的に逸脱したら？

→どんな状況でも、**自分自身で聖書を学び、適用できる。**

■福音を告げ、主イエスを証しする**使命に遣わされよう。**

→自分自身が主に従っていれば、道は主が拓かれる。

助け手なる聖霊が内におられ、主イエスが共におられる。

■道はいろいろな形で拓かれる。**主の御声に心を傾けよう。**

例)誰かと一緒に聖書を学ぶ、聖研のサークル、ネットの集まり、  
他教会への移籍、引っ越し…。

## ★ 根拠ある希望をもって、忍耐しよう ★

- 地上で試されるのは、忍耐。忍耐で試されるのは、**主への信頼**。  
今の時代の忍耐 → 主の約束を信頼し、主の来臨を待ち望む
- 主イエスの初臨・クリスマスの背後には、罪の深い闇があった。  
主イエスの再臨を待ち望む今の時代には、さらに深い闇がある。
- 主の忍耐の上に、今もなお、救いのチャンスが与えられている。  
主の忍耐に救われた私だから、忍耐して福音を告げ知らせよう。

**主の約束への信頼と希望をもって、主の来臨を待ち望もう**

# 主が

## ■ローマ人への手紙2:6~11

神は、一人ひとり、その人の行いに応じて報いられます。

**忍耐**をもって善を行い、栄光と誉れと朽ちないものを求める者

には、**永遠のいのち**を与え、利己的な思いから真理に従わず、

不義に従う者には、怒りと憤りを下されます。

悪を行うすべての者の上には、ユダヤ人をはじめギリシア人にも、

苦難と苦悩が下り、善を行うすべての者には、ユダヤ人をはじめ

ギリシア人にも、**栄光と誉れと平和**が与えられます。

神には えこひいきがないからです。

てん とう つみ  
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ しゅ  
わたしは、神のみ子、主イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ  
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん  
③ 三日目に復活されたこと、を信じます。

しゅ やみ よ しゅ えいこう み やど たんじょう  
主イエスは、闇の世に、主の栄光をその身に宿して誕生されました。

くらやみ お じだい えいこう おう さいりん  
さらなる暗闇の終わりの時代に、栄光の王として再臨されます。

しゅ にんたい うち せかい たも わたし すく みちび  
主の忍耐の内に世界はなお保たれ、私は救いに導かれました。

しゅ やくそく しんらい きぼう も せんきょう しめい つか  
主の約束への信頼と希望を持って、宣教の使命に遣わしてください。

しゅ な いの  
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」